

- 33 煮大根べつ甲色に透きとほる
- 32 雲くらいなれる気がする古希の冬
- 31 銀杏黄葉真つ赤な車に降りしきる
- 30 初雪や関門海峡吹き抜ける
- 29 あるじ待つポイントセチアの出窓かな
- 28 寒風に耐へ山頂の巖に佇つ
- 27 冬うつらら夫にもありしガールフレンド
- 26 ひなたぼこ特等席はいつも猫
- 25 クリスマス会オーナメントの手作り感
- 24 寺町の路地の一角餅をつく
- 23 鍋焼を上手につまむ丸き箸
- 22 旅にあり研ぎ澄まされし寒の星
- 21 極月に検査もろもろ受けし破目
- 20 冬鴟や開山堂へ苔の道
- 19 寒暁の雲に紛れん薄き月
- 18 霊岩の前に落葉の吹き溜まる
- 17 初雪の山を隠すや低き雲
- 16 虎落笛べ・ト・ベンの像に聴く
- 15 中庭の鉄棒特訓暮早し
- 14 鶴折るに程よき厚さ古曆
- 13 其方此方の団地の軒に吊し柿
- 12 ちゃんちゃんこ悔いなき余生趣味に生く
- 11 この年で日記は不要メモ帳を
- 10 放課後の縄跳びする子に日矢射せり
- 9 川底に煌めく落葉の万華鏡
- 8 鯽来ると空鉛色日本海
- 7 柿の葉すし頬張る野路や里小春
- 6 シェルターが門のごとくや冬山路
- 5 紅葉狩り臉の奥の鎮まらず
- 4 二度三度鼻の声目覚めけり
- 3 薄雲に溶けさふな月冬の朝
- 2 腹の子に話かけする十二月
- 1 遠山に雪化粧見え温泉へ